

豊橋で急成長を目指すスタートアップを応援 スタートアップチャレンジ交付金の交付先決定

豊橋市を活動拠点として急成長を目指す起業初期のスタートアップを積極的に支援するため、本市では、令和4年度にスタートアップチャレンジ交付金制度を創設しました。昨年度末にこの交付金の募集を行ったところ、市内外のスタートアップ10社から応募がありました。

このたび、厳正な審査により、将来有望なスタートアップ5社を第1回目の交付金交付先として決定しましたのでお知らせします。

ポイント① 市内外を問わず幅広くスタートアップを支援

本市をフィールドとして事業活動を展開するスタートアップを全国から呼び込み、1社あたり最大250万円を交付します。

ポイント② スタートアップと地域の事業者とのマッチングを推進

本市で活躍するスタートアップを増やしていくことで、地域の事業者との連携により新たなビジネスが生まれる環境づくりを行っていきます。

<交付先スタートアップ>



企業名(代表者氏名)	所在地	事業概要	交付額
(株)Archeda (アルケダ) 代表取締役 Co-CEO 長田 大輝	東京都 渋谷区	衛星画像データを用いた解析技術により、森林の二酸化炭素吸収量の推定や森林破壊の検知、地盤変化等をモニタリングするサービスを展開する。	150万円
(合)OptTech (オプトテック) 代表社員 藤井 琢也	豊橋市	技科大発ベンチャーで、撮像環境の最適化により、AI外観検査の高精度化を実現する独自の照明製品の設計開発を行う。	150万円
(株)豊橋バイオマスソリューションズ 代表取締役 熱田 洋一	豊橋市	技科大発ベンチャーで、地域資源の循環に貢献するメタン発酵システム、小型のバイオマス発電プラントの設計開発、製造、販売等を行う。	250万円
(株)Lirem (リレム) 代表取締役 籾内 龍介	豊橋市	飲食店がインフルエンサーへ料理を提供し、その料理情報をインフルエンサーがSNSで発信することで、集客を最大化するシステムの開発を行う。	100万円
RainTech(株) (レインテック) 代表取締役 藤井 聡史	名古屋市	低コストな雨量計とIoTデバイスにより、地域の降雨量や河川の状況を正確に捉える地域特化型気象・防災情報伝達サービスの開発を行う。	150万円

本交付金の詳細については、右記QRコードを読み取り、ホームページにてご確認ください。

問合せ 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野 (電話 51-3155)

